



(R6.3.28)

医療福祉の地域創造会議 通信 第123号



第119回ワーキンググループ会議 (R6.3.21)

「今年度の振り返りと意見交換」

●進行：事務局長/滋賀県健康医療福祉部 理事
角野 文彦

令和5年度は、10回の定例ワーキンググループ会議と1回の特別企画を開催し、延べ532名もの方に参加していただきました。ありがとうございました。3月は角野事務局長の進行で一年間を振り返り、たくさんのご感想やご意見をいただきましたので、一部ですが紹介します。

あわせて、令和6年度の予定も公開しました。たくさんのご参加、お待ちしております。

～ご感想・ご意見～

- ・今年度は様々なテーマでの話題提供があり勉強になった。グループワークでは様々な立場の方から多様な意見が聞けてよかった。
- ・地域で頑張っている人の話を聞いて、その取り組みが継続されていることをすごく心強く感じた。
- ・高齢分野にとらわれず、運転免許や医療的ケア児の話が聞けてよかった。
- ・地域で生活されている方、サポートされている方の生の声が聞けてよかった。
- ・地域創造会議は地域の取り組み紹介の場であり、参加された方は地域でのよい取り組みをまねていくことも大事であると考えます。
- ・よく似た業種の方とばかり関わっていると偏った考え方になるが、地域創造会議は様々な意見を聞けるよい場である。
- ・介護は家族で完結するものという考えであったが、地域創造会議を通して、地域には支えてくれる仕組みがあるということを知れたのがよかった。
- ・2年位前に母が認知症になり、一人ではなにもできず、改めて様々な人とのつながりが大事と感じた。
- ・家族の介護等で悩むことがあったが、ワーキング会議を通じて知識を得たり、つながりが広がったりすることで、自分自身が動ききっかけになった。医療や福祉のプロではないが、このような場で様々な人とつながることで深掘りできるきっかけとなっている。
- ・地域創造会議のメンバーが代わる中でも色々な人と関わることができ、ここでできたネットワークが仕事に生かされている。
- ・自分たちは誰かに看取ってもらえるのだろうかとか不安を持たれている方がいる。どのような場を作っていけばよいか考える機会があるとよい。



R6年度の予定

【総会・研修会】

8/25(日)午後 ピアザ淡海大会議室

講演：「(仮題) 脳の仕組みと記憶回想法」

講師：老人保健施設アルカディア氷見 施設長 長谷川 健 さん

話題提供：県内での取り組み事例

【「滋賀の医療福祉を守り育てる」県民フォーラム】

11/16(土)

※詳細は検討中

【ワーキンググループ会議】

いずれも木曜日 18:30~20:00に開催

・4/25(滋賀県庁新館7階大会議室)

「訪問診療センター開設と専門医による訪問診療の取り組み」
市立大津市民病院 理事長 河内 明宏 さん

・5/23(滋賀県庁新館7階大会議室)

「終活と公正証書 ～遺言書を中心に～」

大津公証役場 公証人 白髭 博文 さん

・6/27(滋賀県庁新館7階大会議室)

「(仮題) 若年性認知症の当事者の声」

当事者の方

・7/25(キラリエ草津)

第1部(17:00)「誰でも食べやすい本格フレンチの料理教室」

第2部(18:30)「(仮題) 障がいのある子どもたちとの料理教室」

レヴォヌール 代表 古池 汰成 さん

・9/26(滋賀県庁新館7階大会議室)

「(仮題) びわこファミリーレスパイトの取り組みについて」

くまだキッズ・ファミリークリニック 院長 熊田 知浩 さん

・10/24(長浜市)

「(仮題) 福祉とデザイン」

長浜市社会福祉協議会 山岡 伸次 さん

・12/19(滋賀県庁)

「(仮題) みんなで考えよう! 地域での困りごと」

関西鍼灸院 鍼灸マッサージ師 平木 愛 さん

※令和7年は1/23、2/27、3/27に開催します

～事務局長交代のお知らせ～



角野事務局長の退職に伴い、新事務局長に滋賀県健康福祉部医療政策課長の切手俊弘が就任します。新体制の事務局共々、よろしくお願いいたします。

医療福祉の地域創造会議 事務局

(滋賀県庁 医療福祉推進課内)

Tel 077-528-3529

e-mail info@chiikisouzoukaigi-s higa.jp

